

南三陸町の秋の祭典

旬の食材が豊富なこの秋、町内各地で南三陸町ならではの秋のお祭りが開催されました。



合併5周年を記念して、各会場ではたくさんの餅まきが行われました



会場となった魚市場では、大勢のお客さんがおいしい鯛に舌鼓をうちました

産業フェア志津川会場&さけまつり

10月31日(日)、「産業フェア志津川会場」と「志津川湾さけまつり」が志津川魚市場で合同開催されました。台風14号の影響で、サケのつかみどりなどの一部のイベントが縮小されましたが、恒例となった南三陸大鍋国技館や無料で振舞われたサケ汁などに、大勢のお客さんがおいしい笑顔を見せていました。



歌津のお祭りは、数多くのステージアトラクションが魅力のひとつです

産業フェア歌津会場

11月7日(日)、「産業フェア歌津会場」が平成の森で開催されました。毎年、開始直後に売り切れてしまうほど人気の活アワビは、今年も目玉商品として市価より2~3割安く販売され、すぐに完売となりました。また、特設ステージでは、歌津恋来い浜まつりで注目を浴びたトマリーズのマドロス踊りや歌津魚竜太鼓などのステージアトラクションが次々と演じられ、会場は拍手と歓声につつまれていました。

ひころの里秋まつり

11月7日(日)、入谷ひころの里で「ひころの里秋まつり」が開催されました。朝採りの新鮮野菜やはっと汁などが販売されたほか、郷土芸能の入谷打囃子やチェーンソーを使って丸太から彫刻の作品を造るチェーンソーアートなどが披露され、大勢のお客さんが入谷ならではの山里の秋祭りを楽しみました。



紅葉した木々と松笠屋敷をバックに舞い踊る入谷打囃子

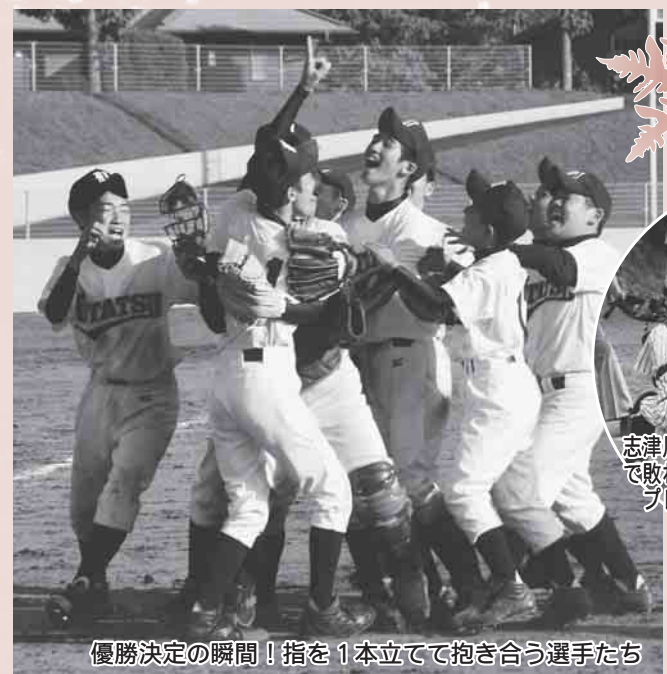
おさかな通り大漁市

11月14日(日)、志津川南町の通称おさかな通りで「志津川おさかな通り大漁市」が開催されました。開始早々、お魚通りには歩行者天国と見間違うほどのお客さんが集まり、体験学習で参加した志津川中学校1年生の皆さんが、元気な声でクーポン券の販売などを行っていました。各店舗自慢の商品や新鮮な山海の幸が店頭と並んだほか、無料の試食品を提供する店もあり、活気あふれる1日となりました。



志中生の活躍で通りは活気に溢れていました

歌津中学校初優勝！ ～南三陸地域中学校野球大会～



優勝決定の瞬間！指を1本立てて抱き合う選手たち



志津川中学校は惜しくも準決勝で敗れましたが、気迫あふれるプレーを見せてくれました

10月17日(日)と10月23日(土)の2日間、平成の森しおかぜ球場などを会場に「第32回河北優勝旗争奪南三陸地域中学校野球大会」が開催され、歌津中学校が初の栄冠を手にしました。決勝に駒を進めたのは、歌津中学校と津山中学校。6回を終わって2対2の緊迫した試合となりましたが、最終回に1点をもぎとった歌津中学校がその裏を守りきり、出場した15校の頂点に立ちました。この大会をひとりで投げきり、最優秀選手に選ばれた歌津中学校の三浦冬生さん(◎中山)は「みんなが点をとってくれたので楽な気持ちで投げることができました。」と話してくれました。



全員野球で勝ち取った初優勝に満面の笑み



選手宣誓は歌津中学校の浅野祐介さん(◎平松)が行いました

菊の品評会で 農林水産大臣賞受賞

10月17日(日)に仙台市で開催された「宮城県花き品評会」で、遠藤吉司さん(◎入大船沢)が出品した輪菊「精興黄金」が農林水産大臣賞を受賞しました。県内の花き栽培農家が腕を競うこの品評会には、バラや輪菊など161点が出品され、遠藤さんの輪菊は、その中で最高の賞に選ばれました。遠藤さんは「このような賞をいただきプレッシャーを感じていますが、これからも品質を維持していけるように頑張りたいと思います。」と話してくれました。



10月21日(木)に町長室で受賞報告を行いました

ふるさとに帰ってきたサケ

志津川の水尻川と八幡川でサケ獲りの作業が始まりました。サケの遡上は、11月20日ころからピークを迎え、多いときには1日に2千尾ほど獲れますが、今年は夏の猛暑の影響で例年より少ないようです。サケは4年で帰ってくると言われていますが、2年や7年で帰ってくるサケもいると、サケ獲りの作業をしている人が話してくれました。サケの年齢は、うろこを見ると分かるそうで、サケ獲りでは卵を取るだけでなく、今年帰ってきたサケの年齢を調べ、来年以降にどれぐらいのサケが帰ってくるかを予想する資料も作っています。(写真・文：戸倉中学校2年 佐藤裕さん) ※22ページ参照



寒い中サケを獲る人たち